

^13
4328
2



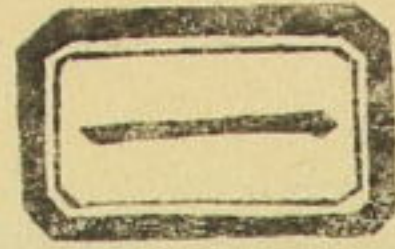


花の肥

三編上

N13
4328
2

<2002-234>



厚化 萬年 田三 為永 固貞 畫



堪刃 五兩と定め密夫の償代を七兩貳分とありて
 何の頭 極めありけん然て春霄一刻の價千金と
 積り相場をぐるの入れるべしされ晋子其の月を
 蚊を疵小しと五百兩と吟じ秀句のちを思命這ハ月花小
 放心遊ぶる只かの文人墨客等が仲間の通り相場小して
 一字千金と教へる有難き世の本直段よこそ爰小僕等
 どたありて文字の端をいささか竝べもて小冊とありて心
 婦幼の玩具とるせる是三文が智恵もふたげんど下直
 のよふふあん

戊辰新春

為永春水記

頁三



音羽
拍尾色の

浪花の舟衆
栗名屋得藏

悪兒
具禮八



Handwritten text on the right edge of the page.

Vertical handwritten text on the right side of the upper illustration.

Vertical handwritten text on the left side of the upper illustration.

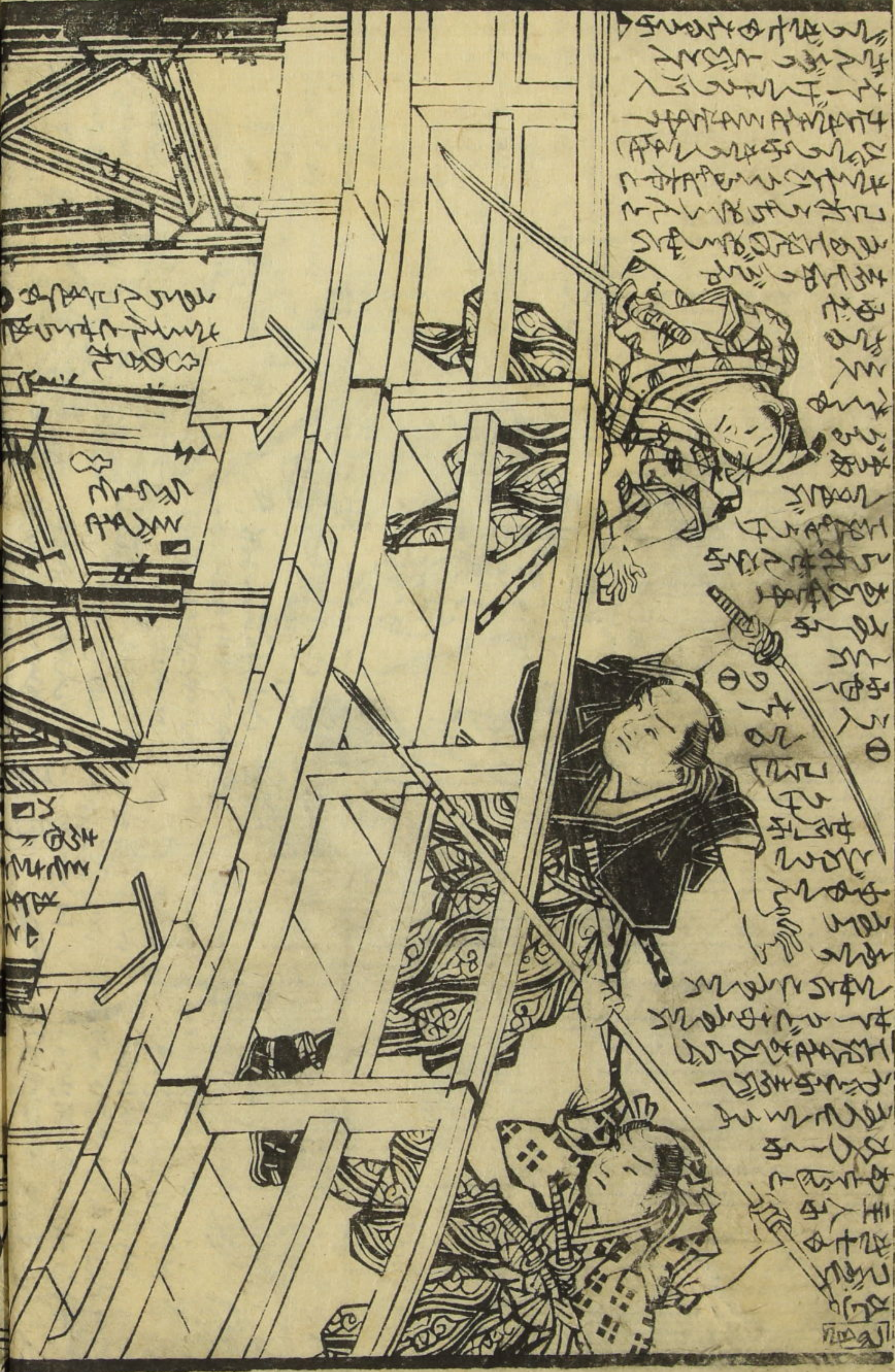
Vertical handwritten text on the right edge of the lower illustration.

Vertical handwritten text on the left side of the lower illustration.

Vertical handwritten text on the left side of the upper illustration.

Vertical handwritten text on the left side of the lower illustration.

Vertical handwritten text on the far left edge of the page.



唐什格三





三十一



安住 幸吉
 多子 春水
 同貞 点
 三 細下

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the illustration.



Handwritten Japanese text at the bottom of the left page, possibly a signature or a note.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a preface or introductory text for the illustration.

Handwritten Japanese text at the bottom of the right page, possibly a signature or a note.



三十一

此の物語は
 昔の物語に
 似て居るが
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり

此の物語は
 昔の物語に
 似て居るが
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり

此の物語は
 昔の物語に
 似て居るが
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり

此の物語は
 昔の物語に
 似て居るが
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり
 其の趣意は
 異なるなり
 其の人物は
 亦異なるなり
 其の事柄は
 亦異なるなり

Handwritten text at the top of the page, likely serving as a title or introductory notes for the scene.



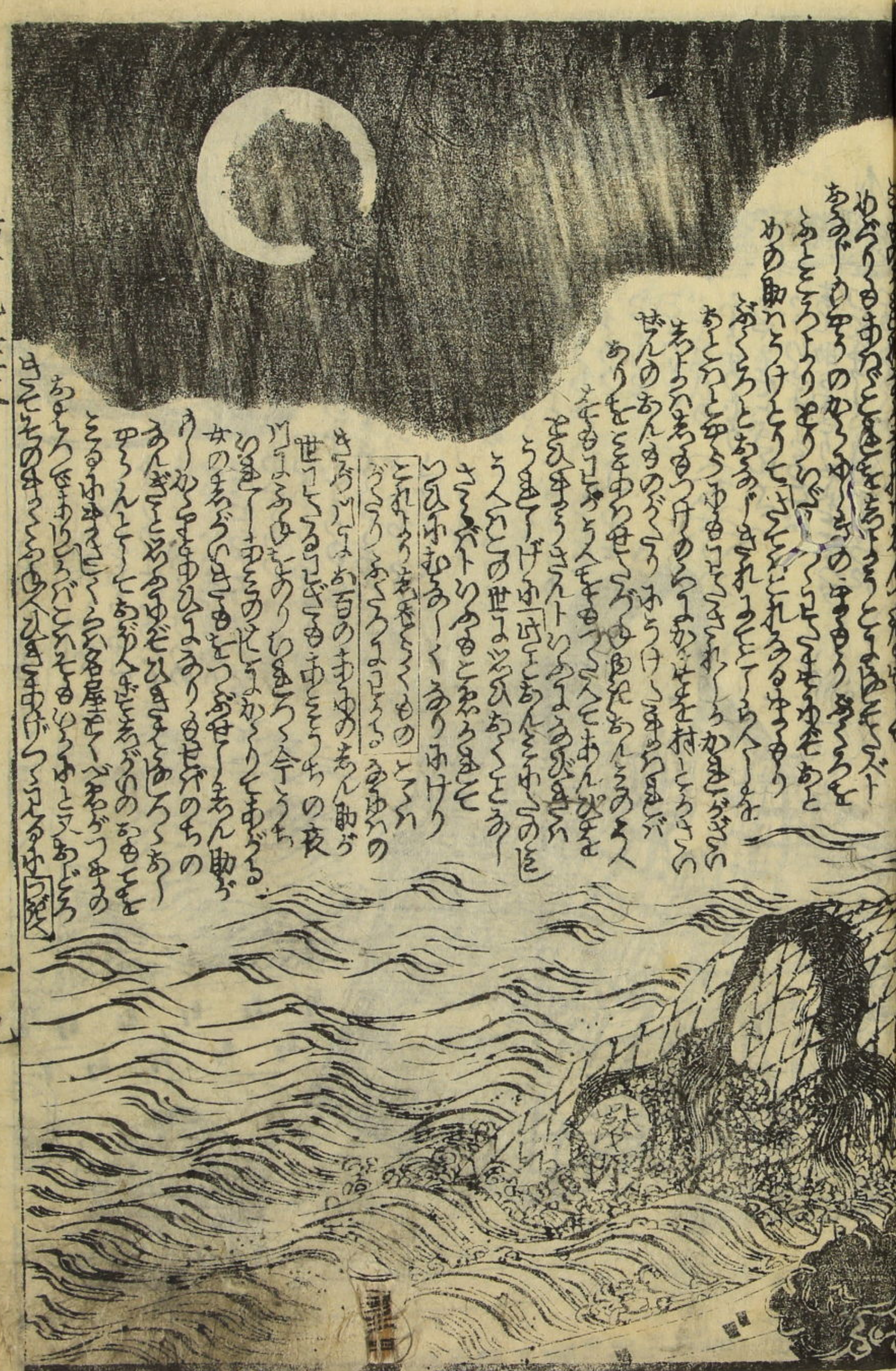
Handwritten text at the bottom of the page, likely providing commentary or a continuation of the narrative.



浮世草子



魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる
 魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる
 魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる



魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる
 魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる
 魚の網を引く時
 舟の揺れを恐るる

厚化粧



四編上



尊心柱四

法ほう師しめけどらるまふをした文ぶん章しやう多おほく綴り出きん力ちからもあり。中の
 襟えり垢あかの世を遁じの頭かしらの相さえ拂はらふよほ玉の盃をこ
 こと古こ人ひとの糲を舐廻なりて只ただ管くだ先せん哲てつの聲色こゑいろを法るひ
 年とし玉たま物ものの策子さくしの編ど只木きの箸竹たけの箸橘たち櫛かみざひ
 うと卑ひしまれて淺あは草くさ海うみ苔こけらどと愛られも世よに玩具あそび宮みやの
 片かた隅ぐもの幾秋あき古ふるさまで果ハ鼠の栖とやまらん。實小
 冊ふ子し作つくる業をかり美次みぎからぬゆららどと五い十じゅう年ねん来らいの
 白しろ痴ちを知りて冗じやうらら額ひたいを撫る支さらり

戊辰新春

爲永春水記





葉川
乙女之助

鶴岡
阿白

四十一

四十二

新米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田

舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田



舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田
舟に米田の舟に米田



Handwritten text in the upper right section of the page, including the characters '伊志' (Ishi) and '百無' (Hyaku-mu).

Vertical handwritten text located between the two illustrations.

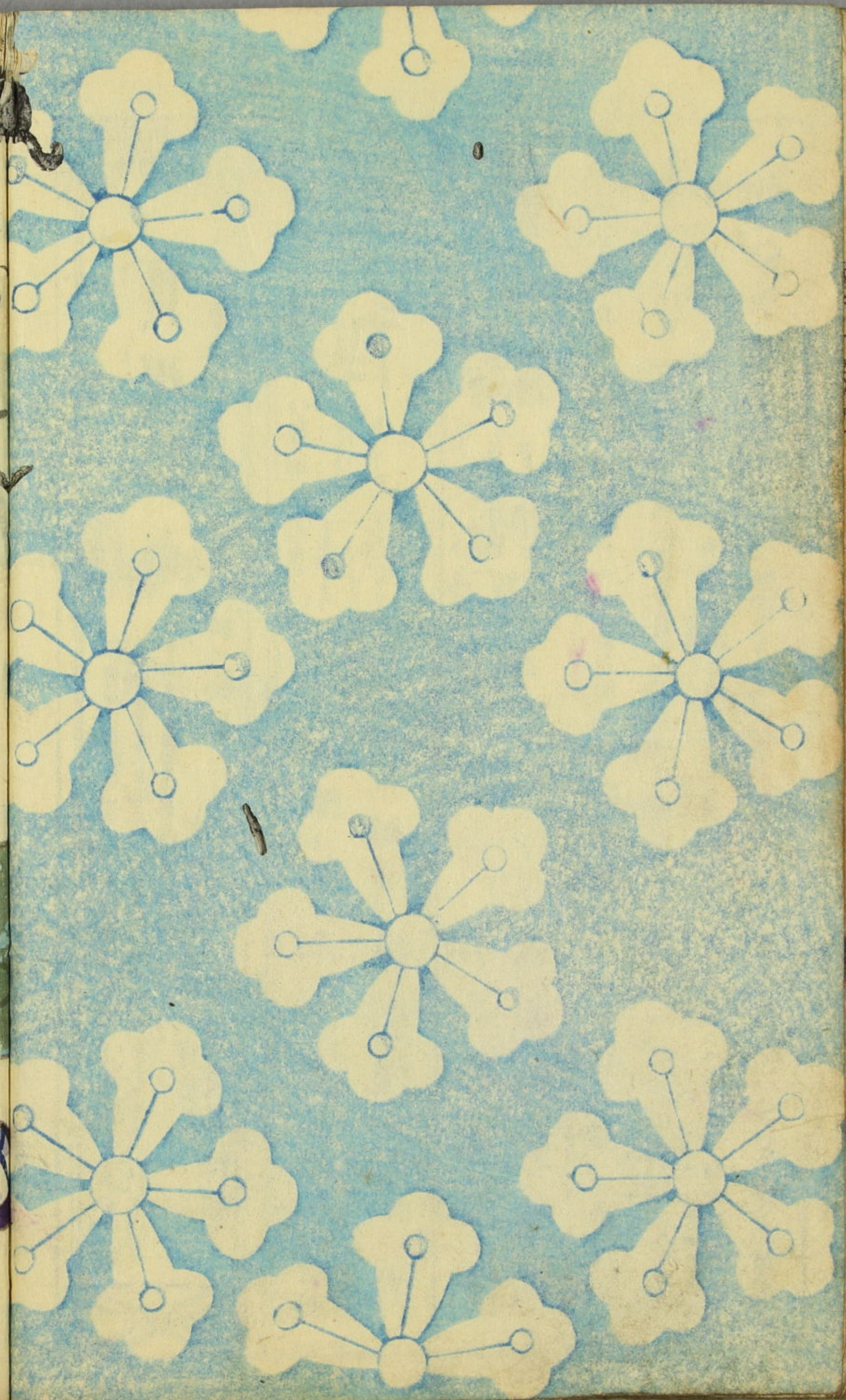
Handwritten text in the lower right section of the page.



Handwritten text in the upper left section of the page.

Handwritten text in the lower left section of the page.

萬年



為水

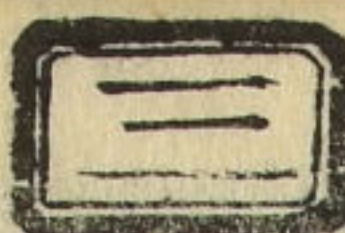
著

梅樵

樓
画

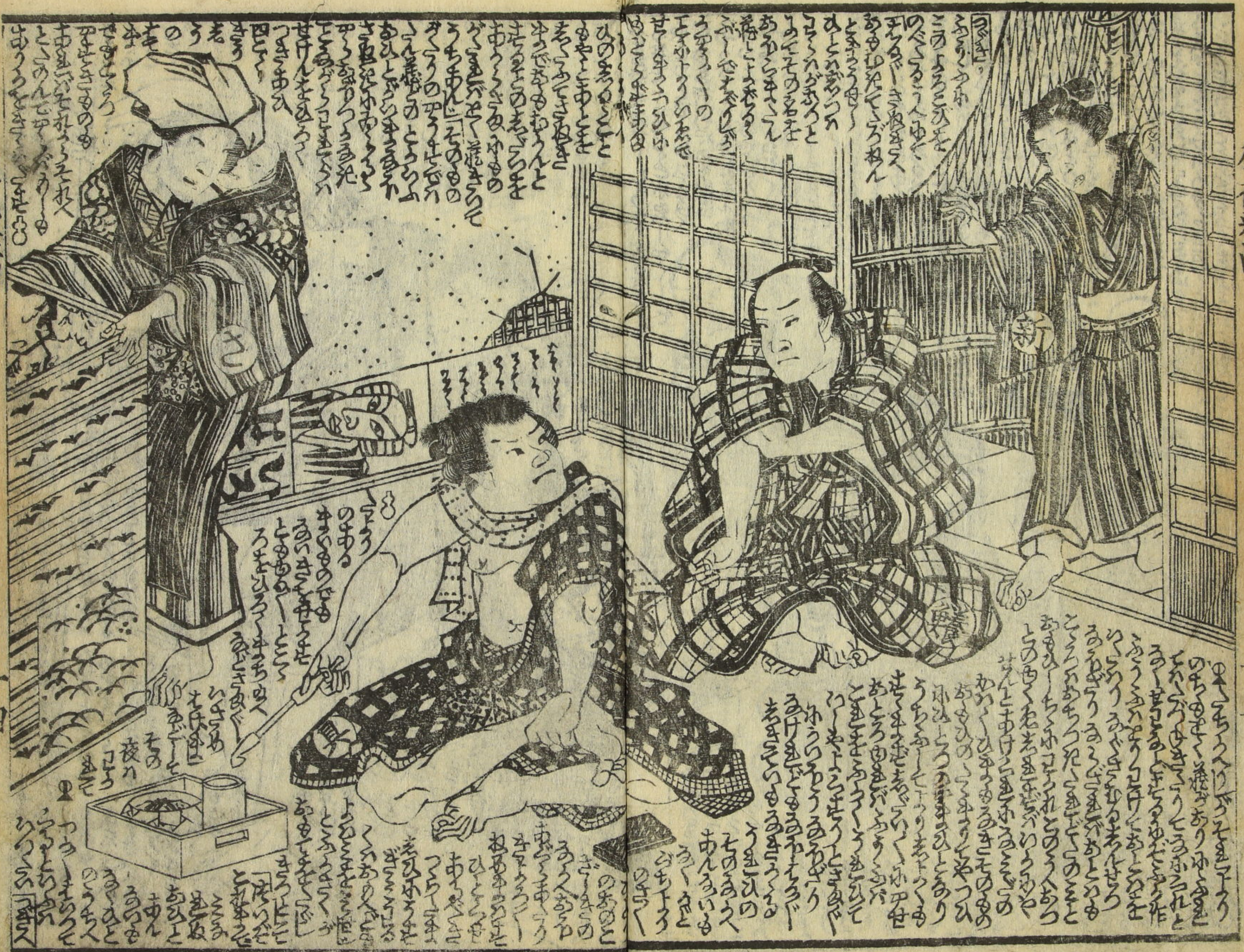


四
編
下



一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百





Vertical text on the left edge of the page.

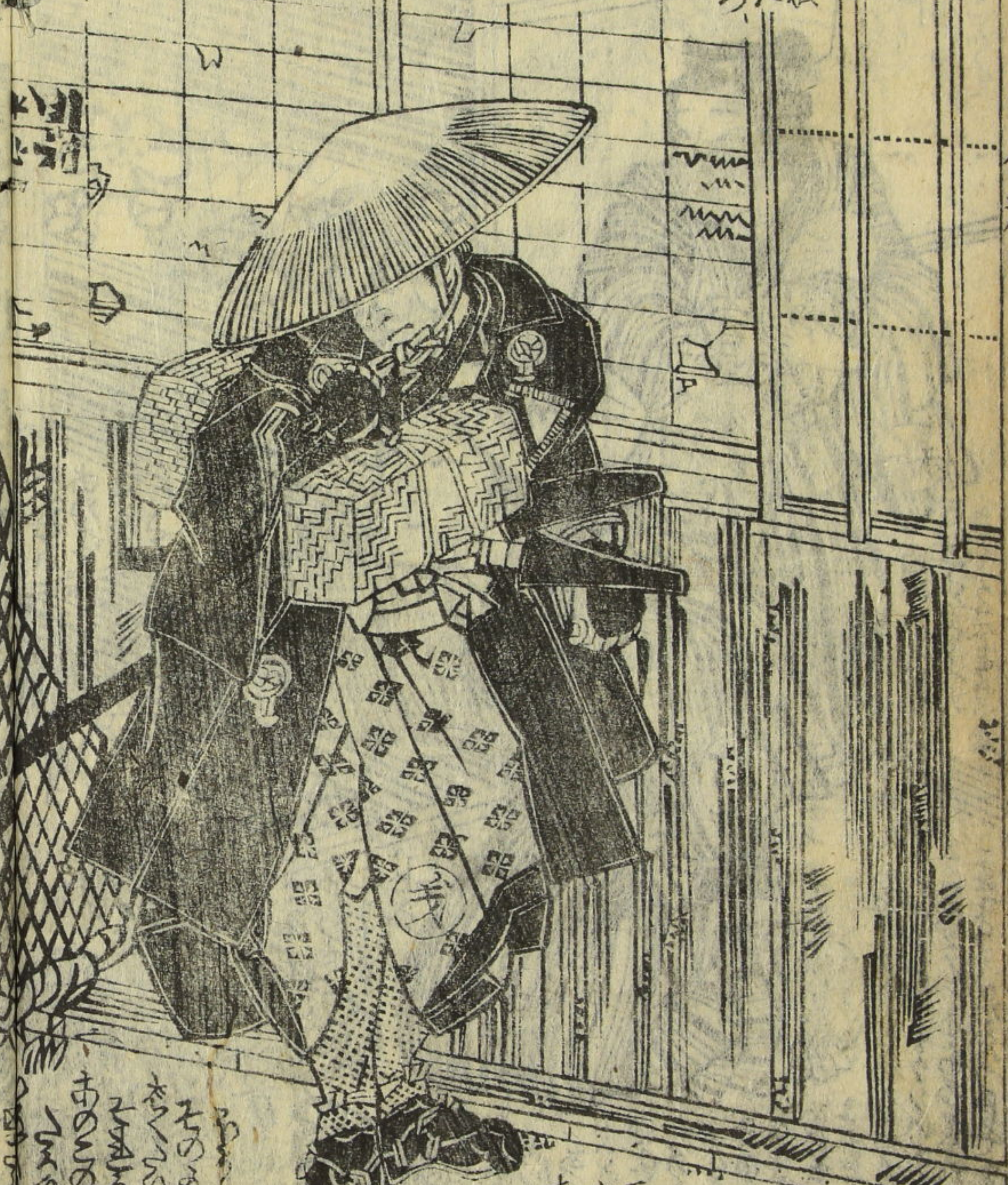
Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the bottom of the left page.

Vertical handwritten text on the left margin of the left page.

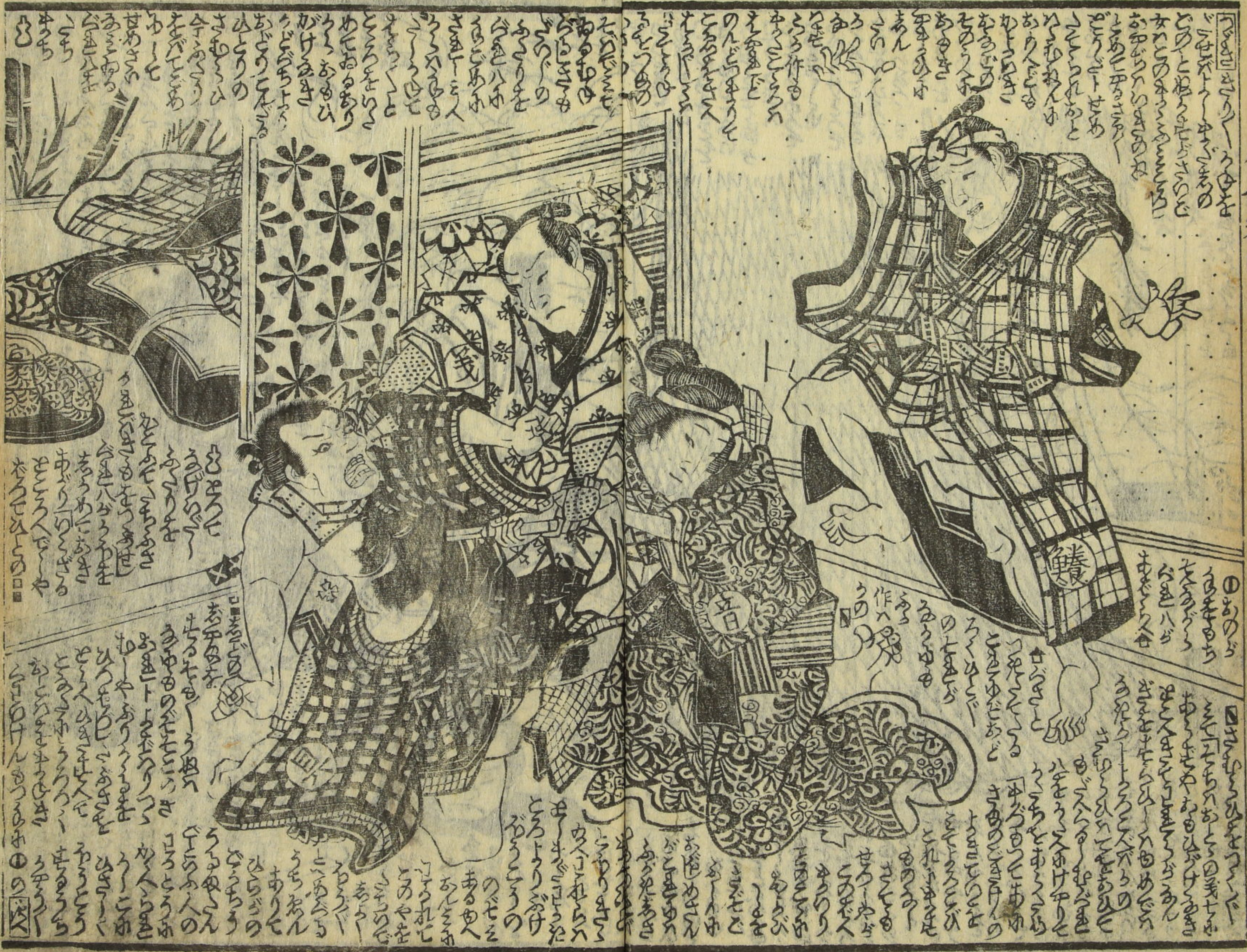
Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the bottom of the right page.

Vertical handwritten text on the right margin of the right page.

Vertical handwritten text on the right margin of the right page.



あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい



あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい
あつちいあつちいあつちい

為永春水作歌川國貞画

朝鮮牛肉丸... 大包全米... 小包百粒... 廿二日の補丸... 廿四日の補丸... 廿六日の補丸... 廿八日の補丸... 三十日の補丸... 三十一日の補丸... 三十二日の補丸... 三十三日の補丸... 三十四日の補丸... 三十五日の補丸... 三十六日の補丸... 三十七日の補丸... 三十八日の補丸... 三十九日の補丸... 四十日の補丸...

ふつふつのはたけ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ...

よりのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ... みるみるのあはれ...

版元 紅英堂

厚作板萬年嶋田

八編 種彦作 國貞画

新局丸尾傳

十二編 種彦作 國貞画

室町源次郎胡蝶巻

十九編 種彦作 國貞画

筆海四國聞書

十三編 種彦作 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作 國貞画

明鴉墨画通稱稿

十六編 種彦作 國貞画

童謡妙々車

廿四編 種彦作 國貞画

花村蒼玉章

十編 種彦作 國貞画

薄倂如日記

二十編 種彦作 國貞画

八犬傳大の双紙

十四編 種彦作 國貞画

上巻本葛飾譚

十二編 種彦作 國貞画

萬屋吉藏板

南傳馬町丁目



井上

香
水
香
國
真
馬



香
水
香
國
真
馬